

7 糖尿病

(1) 代表目標項目の選定

糖尿病分野においては、一次予防に関する目標は1. 栄養・食生活、2. 身体活動・運動分野での目標と重複していることから、ここでは二次予防と発症抑制に関する項目として、「7. 4 糖尿病検診の受診の促進」(循環器病と共通項目)、「7. 5 糖尿病検診受診後の事後指導の推進」、「7. 6 糖尿病有病者数の減少」の3つを代表目標項目として選定した。

(2) 新規目標項目の設定

① 7. 9 メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)を認知している国民の割合の増加

1. 15 栄養・食生活(P32)参照

② 7. 10 メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の該当者・予備群の減少

今般の医療構造改革において、平成27年のメタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の該当者数を平成20年と比較して25%減少させる目標設定がされており、健康日本21においても同様の目標設定を行う。

7. 10 メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の該当者・予備群の減少 指標の目安

[メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の該当者・予備群の人数]

	参考値	平成27年
7. 10a 該当者・予備群(男性) (40~74歳)	1,400万人 (平成16年)	25%以上の減少 (対平成20年)
7. 10a 該当者・予備群(女性) (40~74歳)	560万人 (平成16年)	25%以上の減少 (対平成20年)

③ メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の概念を導入した健診・保健指導の受診者数の向上

今般の医療構造改革において、メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の該当者・予備群の減少に向け、特定健康診査の対象となる40~74歳の健診受診率、及び健診受診者のうち、要指導者が保健指導を受ける率の目標を設定する。

7. 11 メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の概念を導入した健診・保健指導の受診者数の向上

指標の目安

[特定健康診査の受診率]

	ベースライン値	平成27年
7. 11a 健診受診率	—	— (※)